

令和3年活動事例発表会

Lu. cultivar

山葡萄農園Lu.cultivar 山口光司
元野田村地域おこし協力隊
山葡萄生産支援員

自己紹介

- 名前: 山口 光司 (やまぐちこうじ)
- 出身: 栃木県宇都宮市
 - ・2013年 学生の時ボランティアサークルに入る。
大学4年時に東北沿岸地域で仕事を探す
 - ・大学の教授の知り合いの方から野田村の地域おこし協力隊の紹介を受け、応募、採用
- 2018年3月東京にある大学を卒業 4月協力隊に着任 (東京→野田村)
 - ・2018年4月～2021年3月「山ぶどうの生産支援」として野田村の山葡萄の生産に携わる
 - ・2021年4月～村内の山葡萄畑1haを借地のだ塩工房の薪割り、養豚のパート従業員の兼業農家として就農

募集人数・活動内容

○漁業【荒海団活動支援員】 若干名

漁業、漁家での浜作業のお手伝いを通じて、必要な基礎的技術を習得してもらい、村内での就漁につなげます。
あわせて、荒海団営業センターの支援や各種イベント等での荒海シリーズの販売促進活動を行っていただきます。

○農業【山ぶどう生産支援員】 若干名

生産農家での農作業のお手伝いを通じて、必要な基礎的技術を取得してもらい、村内での就農につなげます。
あわせて、山ぶどう生産組合の運営支援や各種イベント等での支援を行っていただきます。



活動内容

山ぶどうの生産支援

- ①生産農家での作業と技術習得と
圃場の管理・加工支援
- ②(株)涼海の丘の運営支援
- ③各種イベントでの等での出展
- ④その他、就農、地域振興につながる活動

1年目の活動 ～山葡萄栽培の基礎を幅広く学ぶ

- ワイナリーでの加工支援 4月～
- 1圃場 山葡萄畑40aの管理 4月～
- 商談会への参加 9月
- 収穫(約3トン分選果し出荷) 10月～
- 山葡萄の畑80aの剪定 2月～
- 新植圃場の整備 3月～

2年目の活動

～1年目に学んだ技術の実践、山葡萄以外の活動にも取り組んだ

- 4圃場 230aの山葡萄の畑の管理 4月～
- イベント等への出展(5月、9月)
- 大阪への販路開拓9月
- ニューヨークほくほく会3.11追悼式に参加 3月
- 山葡萄40aの植樹をボランティアの方々と実施 3月

3年目の活動

～1年目と2年目の経験を経て様々なことに挑戦させて頂いた

- 引き続き 4 圃場圃場230aの管理
- 県政懇談会への参加 9月
- 山葡萄収穫ボランティアの企画 10月、11月
- 山葡萄ジュースの商品開発 12月～























2020年11月収穫ボランティア企画

搾りたてのジュース

一緒に飲みませんか？

参加者全員に、2kgの山ぶどう(生果)をプレゼント！

山ぶどうの収穫ボランティア 募集中

日程：10月12日から11月13日までの毎日

集合：陸中野田駅 8時30分(午前の部) 12時30分(午後の部)

参加時間・日数は自由です。ご都合の良い時間帯でいらして下さい(雨天時は、選果作業を行います)

✂ はさみでぶどうを収穫するだけの簡単な作業です

小さなお子様でも大丈夫です。安心してご参加下さい。

❖ 収穫に必要な道具はこちらで用意しますので、汚れても良い服装でいらして下さい

ぶどうと青空と新鮮な空気でお待ちしています

ご宿泊は「のんちゃんハウス」「国民宿舎えぼし荘」「小野旅館」「苦屋」があります。
ご予約は各自でお願いします。

☐ 詳細はブログで。→「野田村ローカルビジョニング」

参加の際は、メールまたは電話で

連絡は ☒ zaq0108locavisi@gmail.com ☎ 09093170108 野田村地域おこし協力隊 山口光司まで









任期後～

- 山葡萄 1 haの畑を借り耕作しながら週 3 養豚と週 2 塩工房のパート従業員として勤務
- 無農薬栽培を目指し 7 月までは順調に生育



8 月病害虫の大量発生やお盆の長雨の後の気温上昇でぶどうに病気が多発、一年目の収穫量は去年の半分以下にある

その分ジュースは去年の 2 倍製造し帳尻を合わせる

	月	火	水	木	金	土	日
08:00							
09:00							
10:00	養豚		養豚	養豚			
11:00							
12:00		山葡萄 作業			塩工房 薪割り	塩工房 薪割り	山葡萄 作業
13:00							
14:00							
15:00	山葡萄 作業		山葡萄 作業	山葡萄 作業			
16:00							

Lu. cultivar について

フランス語でLu.は光 (lumiere)、
cultivarは育てる耕すという意味



シャンパーニュ地方の
シャンパンのように
野田村の山葡萄がお
祝い事の定番品となっ
てほしいという思いか
らフランス語で命名

山葡萄加工品の製造

2020年 製造3種類 150本



2021年 製造4種類 370本



就農の初期費用

○協力隊起業補助金を活用(上限100万)

乗用草刈機(50万)、ジュース加工用の寸胴、
フードプロセッサー、ストッカーなど(30)、デザイン
ン費用(12万)など

○山葡萄栽培に必要な

- 機械(スピードスプレーヤー、草刈り機)
- 備品(コンテナ、ハサミ等)
- 小屋は、借地している圃場主の人から借りる

ゆくゆくは自分の機械を買うために販売代金から積立

任期後の収入

- ・山葡萄生果での原料出荷

1000kg × 300円=300,000

- ・ジュース等の加工品の売上

600,000円-経費200,000円=400,000

- ・薪割り、養豚のパート収入

(32000+52000) × 11=924,000

1,624,000円-税金400,000円=1,224,000円

初年度は、去年の税金と同じ額の税金がかかります

山葡萄農家として残った理由

- ・野田村の村民の方々への恩送り
- ・単純で収量がとれる美味しい品種が求められる世の中で少量しかとれない在来品種である山葡萄をやること→唯一無二なこと
- ・品種によって味も変化し、加工方法でまたさらに変化する自在な魅力を持つ山葡萄を解明していく楽しさ
- ・医薬品としての活用の可能性

自分の地域おこし

- ・ 満州開拓の方々の苦勞を次世代に伝える
そのツールとしての山葡萄加工品の製造、販売

・ 50年後、100年後野田村の山葡萄の畑が
残っていくように守り育てる

(まず、続けられるよう頑張る！)

・ お祝いのための贈答品としての商品の
開発

今後の展望

- ・効率性や経営重視の農業の考え方では採算が合わずなり手が少ないような各地の生産者の方とつながりお互いの実践を学びながら生き残っていけるようにしたい。
- ・引き続き農薬散布回数を減らした山葡萄の栽培が出来るよう試行錯誤を続ける
- ・来年は、500本の製造を目標に収量も確保しつつ山葡萄の栽培を行う。

ご清聴ありがとうございました